

バングラデシュ経済ニュース（2015年7月）

マクロ経済 産業動向	(1) 【6日 Daily Star 紙】 5日、サムソン電子はダッカのダンモンディに、バングラデシュで初となる旗艦店を開店した。同店は Rang Group がその運営を担い、サムソン専門店としてテレビ、携帯電話などの家電製品を販売する予定。 (2) 【9日 Daily Star 紙】 ダッカにおけるイードの買い物では、ショッピングモールや商店に人々が殺到し難儀だ。しかし Sumaiya Hasan は親戚や友人向けのギフトをインターネット経由で購入したので、このような喧騒とは無縁だった。バングラデシュソフトウェア協会 (Bangladesh Association of Software and Information Service : BASIS) の Assan 会長は「現在のオンラインショッピングの規模は10億タカであり、その60%は7月と9月のイードの時期に集中している。E-Commerce の売上高は年間で50%増加している」と述べた。 (3) 【10日 Financial Express 紙】 9日、Muhith 財務大臣は援助機関との会合において「我が国の汚職がもたらす損害は、経済成長の2~3%分に相当する。これらの汚職を無くすにはITを用いることが最も重要である」と述べた。 (4) 【12日 Daily Star 紙】 2015年5月時点の WiMax の利用者は18.8万人で、過去2年間で63.14%減少した。これは WiMax の利用可能地域が限定的な他、3G が導入されたことにより若者を中心に多くの利用者が3Gに流れた為である。 (5) 【15日 Daily Star 紙】 2015年1月~6月における Grameenphone 社の純利益は、前年同期比0.94%減の105億タカに留まった。この原因につき同社の Sethi CEO は「同業他社との価格競争及び1月から3月の政治的不安定により業績は低迷した」と述べた。 (6) 【27日 Daily Star 紙】 26日、National Planning Commission で開催された会議にて、今後5年間の電力計画の素案が示された。この中で、今後5年間で発電量は12,853メガワット増加させる他、現在の高コストな化石燃料による発電から低コストのガス主体の発電に切り替えていくことが謳われた。 (7) 【27日 Daily Star 紙】 26日、政府は公共手続きなどに関する500種類に及ぶアプリの提供を開始した。Joy 首相アドバイザー (ICT 分野担当) は「これらのアプリの提供により、公共手続きに関する時間と煩わしさ、費用を削減
---------------	--

	することが出来る」と述べた。 (8) 【30日 Daily Star 紙】 29日、MasterCard 社は、同社が実施した消費者動向調査の結果を公表した。同調査では18～64歳のMasterCard 保有者405名に対し「景気」「雇用」「所得」「生活水準」「証券市場」の各項目で0点を悲観的、100点を楽観的とした時の現在の状況を点数で表して貰う形で実施された。この結果、「景気」「雇用」「所得」「生活水準」では昨年より高い点数をつけた人が多かった。(尚、調査対象者405名の平均月収は334ドル)
財政 税制	(1) 【1日 Daily Star 紙】 6月30日、議会は2兆9,510億タカに上る2015/16年度予算を承認した。Muhith 財務大臣は同予算の規模は野心的すぎるとの批判に応える形で、「政府は今年度の終わりに8%成長を達成することを目指しており、その為にはこのような大規模予算が必要である」と述べた。 (2) 【31日 Daily Star 紙】 2014/15年度(2014年7月～2015年6月)のBTRC(Bangladesh Telecommunication Regulatory Commission)の歳入は、前年度比59.26%減の410.9億タカに留まった。BTRCのAlam スポークスマンは「一昨年度は3G周波数の割当に伴い歳入が増加した為、昨年度がBTRC本来の歳入額だ」と述べた。
金融・物価・ 為替	(1) 【8日 Daily Star 紙】 2014/15年度(2014年7月～2015年6月)の物価上昇率は6.41%となり、6.5%の政府目標を下回ったばかりか、過去11年間で最も低い値となった。Kamal 計画大臣は「国際市場における石油価格の低迷と安定的な為替が、物価上昇目標の達成に寄与した」と述べた。尚、同期間の食料部門の物価上昇率は6.69%である一方、非食料部門は5.98%であった。 (2) 【9日 Daily Star 紙】 8日、「Micro Credit and the Rural Labour Market in Bangladesh」と題されたセミナーが開催され、イギリスUlster大学のOsmani教授は「マイクロファイナンスから融資を借りている人は、借りていない人と比べて雇用者数が19%増加している他、その雇用期間も53日間長い」とする調査結果を明らかにしながら、マイクロファイナンスは雇用創出効果があると主張した。 (3) 【11日 Financial Express 紙】 保険規制局(Insurance Development and Regulatory Authority: IDRA)は、2013年から2014年に新規に認可された13社の生命保険会社につき、その業績は芳しいものではなく今後改善が見られなければ認可

	の更新はしないとの警告を発した。13 社では 100 タカの保険料を獲得する為に、平均 525 タカの費用を掛けていた計算になる。 (4) 【16 日 Daily Star 紙】 2015 年 5 月の金利スプレッド（貸出金利から貯蓄金利を引いたもの）は 4.83%であり、前年の 5.31%から 0.48%下落した。Muthih 財務大臣は「金利スプレッドの減少は銀行セクター改革の成果であり投資の促進を促すものだ。金利スプレッドは今後 2 年以内に 4%を切るべきだ」と述べた。 (5) 【24 日 Daily Star 紙】 中央銀行は、外国通貨で低利（4%）の融資を促進する為に 50 億ドルの特別基金を設立した。この内、30 億ドルは世界銀行による資金援助で縫製業、靴及び軽工業が対象となる他、残りの 20 億ドルはバングラデシュの独自資金で輸出志向のテキスタイルやアパレル企業、製造業が対象となる。 (6) 【27 日 Daily Star 紙】 26 日、中央銀行は「Financial Stability Report 2014」を発表した。この中で昨年（2014 年）の融資残高に占める不良債権比率は、前年（8.9%）より増加し 9.7%に達したことを明らかにした。Chowdhury 副総裁は「不良債権比率の増加が銀行の収益を圧迫している」と述べた。 (7) 【28 日 Daily Star 紙】 中央銀行は今年度の農業向け融資（Farm Loan）の目標値を、前年度比 5.5%増の 1,640 億タカに設定した。この目標値は 27 日、Rahman 総裁が「Agriculture and Rural Credit Policy 2015」の公表に合わせて明らかにしたものの。 (8) 【31 日 Daily Star 紙】 30 日、中央銀行は今年度の金融政策を発表した。同政策では 7%の経済成長と 6.2%の物価上昇率を目標に掲げ、Rahman 総裁は「中央銀行のスタンスは持続的な経済成長と適度な物価上昇率を維持することである」と述べた。
投資	(1) 【23 日 Financial Express 紙】 世界的な e-commerce 企業である Pay Pal 社が、バングラデシュへの進出を検討している。Palak 国務大臣（情報通信技術省）が同社の米国本社で副社長と会談し、「同社の進出に向けた法規制の改正につき説明した」と述べた。
貿易	(1) 【5 日 Daily Star 紙】 昨年度当初 10 か月間（2014 年 7 月～2015 年 4 月）の貿易赤字は 85 億ドルに達し、前年度の 55 億ドルから大幅に増加した。これは同期間に輸入は 12.19%増加したのに対し、輸出は僅か 2.67%しか増加し

	なかったことが原因。 (2) 【7日 Financial Express 紙】 2014/15 年度 (2014 年 7 月～2015 年 6 月) の輸出総額は、312 億ドルで前年度比 3.35%の微増に留まった。Export Promotion Bureau の Bose 副会長は「我が国の輸出のおよそ 54%は現在不況に直面している欧州向けである」と述べ、輸出額の伸び悩みは欧州経済が原因であるとの見方を示した。 (3) 【8日 Daily Star 紙】 Export Promotion Bureau の直近のデータによると、2014/15 年度 (2014 年 7 月～2015 年 6 月) における縫製業の輸出額は前年度比 4.08%増の 255 億ドルに達した一方、当初目標 (269 億ドル) を 5.24%ほど下回った。縫製業輸出協会 (Bangladesh Garment Manufactures and Exports Association : BGMEA) の Islam 会長は、この原因として①政治的不安定と②ドル、ルーブル、ユーロなどの主要通貨安 (バングラデシュ・タカ高) を指摘した。 (4) 【14日 Daily Star 紙】 2015 年 1 月から 5 月までの縫製業におけるアメリカ向け輸出額は、アメリカの景気回復を背景に、前年同期比 7.09%増の 23.2 億ドルに達した。尚、バングラデシュの縫製業界にとってアメリカは最大の輸出国である。 (5) 【23日 Daily Star 紙】 6月に輸入された携帯電話は、前月比 75.2%増の 273.8 万台に達した。2015 年前半は政治的不安定により携帯電話の輸入量も低迷していたが、政治状況の安定に伴い盛り返してきた格好。 (6) 【27日 Daily Star 紙】 26 日、バングラデシュ政府は今年度の輸出目標を 335 億ドルに定めた。昨年度の輸出総額は 312 億ドルで、今年度の目標値はこれより 7.38%高い。Ahmed 商務大臣は「世界経済の動向も勘案しながら現実的な目標を設定した」と語った。
雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障	(1) 【28日 Daily Star 紙】 女性の海外出稼ぎ労働者数が増加している。Bureau of Manpower, Employment and Training が 6 月に発表した統計によると、2014 年の女性出稼ぎ労働者数は 76,007 名で、2012 年の 37,304 名から大きく増加した。一方、海外出稼ぎ労働者の総数は 2012 年から 2014 年にかけて 30%減少していることを勘案すると、女性出稼ぎ労働者数の増加は目を引く現象である。
対日関係 日本企業	(1) 【9日 the independent 紙】 8 日、Hasina 首相は、公益財団法人国際人材育成機構の柳澤共榮会長の表敬を受け「バングラデシュと日本は双方の利益の為、まだまだ協

	力できる分野は多い」と述べた。また国際人材育成機構はバングラデシュ政府と 1,000 名の技能実習生を受け入れる MoU を締結した。 (2) 【16 日 bdnews24.com】 16 日、新任の渡邊正人日本大使は Md Abdul Hamid 大統領に信任状を奉呈した。同大使は奉呈式後に「両国間の今後の更なる関係強化に向けて真摯に取り組む」と述べた。
社会	(1) 【1 日 Daily Star 紙】 バングラデシュ南部に位置する Barisal 市警に属する 10 名の警察官は、770 万タカに上る不正蓄財により停職処分となった。この 10 名は 230 名の同僚から 1 人当たり 3 万～5 万タカずつ集め、昇進に向けた賄賂用基金を設立していた。 (2) 【23 日 Daily Star 紙】 バングラデシュ統計局が発表したデータによると、都市部では総世帯の内 55%が、極めて高いレベルの大腸菌に汚染された水にアクセスしている。また全国平均では 41.7%の世帯が高濃度の大腸菌の水にアクセスしており、都市部の割合は全国平均を上回っている。尚、水に含まれる大腸菌に関するデータが統計局から発表されたのは今回が初めて。 (3) 【28 日 Daily Star 紙】 27 日、バングラデシュ南部の Cox's Bazar では、大雨により発生した土砂崩れで女性、子供を含む 5 名が死亡した。この他、雨季により継続的に降り続く雨により Matamuhuri 地区では洪水が発生し 30 万人以上が孤立し、食料や飲料水が不足する状態に置かれている。 (4) 【30 日 Daily Star 紙】 29 日、最高裁判所は BNP の常任委員会メンバーである Salauddin Quader howdhury に対し、1971 年の独立戦争時のチッタゴンにおけるヒンズー教徒の大量虐殺などの罪で死刑判決を言い渡した。

(丁)